

2017年元旦 毎日新聞正月別刷関西特集(両表紙構成)

「関西新時代」

人・物・経済を変える「関西の交通」と「京都国立博物館開館120周年記念 特別展覧会」



はじめに

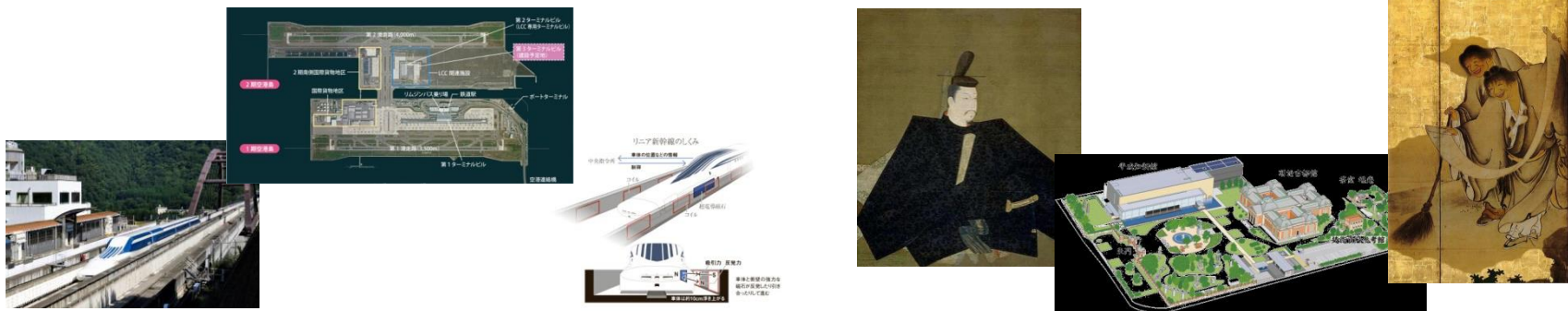
2015年の春頃に急ブレーキがかかった関西の景気は、足踏み状態が持続しています。一方、盛り上がっていたインバウンド観光も変調してきており、外国人観光客の「爆買い」も沈静化しつつあります。買い物を主目的とした旅行から、観光やレジャーを目的とした旅行の形態に変化してきています。関西国際空港へのLCC就航便数増加も、今後の追い風になると考えられます。関西は歴史文化資産が豊富で、様々な観光体験を提供するポテンシャルがあり、インバウンド需要変化への対応が、景気回復の一端になりえる可能性を持っています。関西の観光振興を向上させるには、交通ネットワークの整備と改善が求められており、現在、複数の事業化が検討され、経済活動を支える交通ネットワークの構築は、日々重要性が増しています。交通ネットワークが確立すれば外国人観光客の行動範囲も拡がり、物流など産業活性化も期待ができます。「人・物・経済」を動かす動脈の構築こそ、関西発展の基盤となりえます。

2017年は、京都の二条城において、徳川慶喜が朝廷への政権返上を表明し、武家政権が終焉を迎え、新しい国づくりへの転換期となった慶応3年(1867)の「大政奉還」とそれに続く、「王政復古の号令」から150年を迎えます。また、日本の法令上「国宝」の語が初めて使用された「古社寺保存法」制定より120年、明治30年(1897年)に産声をあげた京都国立博物館も開館120周年を迎えようとする節目の年に、毎日新聞社では、昭和51年(1976年)の「日本国宝展」を開催して以来、41年ぶりとなる特別展覧会「国宝」と狩野永徳や長谷川等伯とならび称される桃山画壇の巨匠である特別展覧会「海北友松」を開催いたします。特別展覧会「国宝」では絵画・書跡・彫刻・工芸・考古の各分野から、歴史と美を兼ね備えた国宝約200件を一堂に会し、日本における悠久の歴史と美の精花を紹介し、特別展覧会「海北友松」では晩年期の代表作はもとより、数少ない初期作や新発見・初公開作品、さらに諸人と幅広い交流の跡を物語る書状や文書類など約700件の作品を展示いたします。

そこで毎日新聞社では、「関西新時代」と題して、来年の元旦に、人・物・経済を変える「関西の交通」と「京都国立博物館開館120周年記念 特別展覧会」をテーマにした別刷関西特集を発行いたします。

本特集は、複数の事業化や整備、改善が検討され、景気回復の起爆剤と期待されている交通ネットワークを、「陸路」・「海路」・「空路」で紹介、「変わる関西への期待」をテーマに、関西に関わり深い女性著名人の未来ビジョンなども取材いたします。また、「京都国立博物館開館120周年記念 特別展覧会」の開催概要や特別展覧会「国宝」のみどころや国宝指定出品作品などを紹介、特別展覧会「海北友松」を「桃山絵師シリーズ」の完結として、83年にわたる友松を回顧し、その生涯を振り返ります。関西発展への足がかりとなり、来年を元旦から明るくする関西の話題が豊富な本特集は、正月の別刷として相応しい関西特集であると確信いたします。

つきましては、特集主旨をご賢察の上、ご出稿を賜りますよう、何卒、よろしくお願い申し上げます。



特集内容(案)

■ 人・物・経済を変える関西の「陸路」・「海路」・「空路」(1～3面)

- ・ 関西における陸路・海路・空路トピックスを分かり易くイラストや写真と併せて紹介します。(1面)
- ・ リニア中央新幹線・北陸新幹線延伸構想(2面)
- ・ うめきた2期の基盤整備事業や用地暫定利用(2面)
- ・ 関西国際空港第3ターミナルビル建設や3空港一体運営構想(2面)
- ・ 大型クルーズ船誘致湾岸整備や神戸・大阪開港150年(3面)
- ・ インバウンド2017年動向(3面)
- ・ 週刊エコノミスト臨時増刊 2017年3月発売(予定)「ザ・関西 VOL.4」発刊告知(3面)

■ 「変わる関西への期待」(3面)

- ・ … 関西に関わりが深い女性著名人に、関西への期待を込めて、未来ビジョンをインタビューします。

〈候補者案〉

- ・ 玉岡かおる(三木市出身・小説家／大阪芸術大学教授)

神戸女学院大学文学部卒業。関西を舞台にした作品で多くの読者を獲得、神戸にも馴染み深い。熱狂的な阪神タイガースファンで、宝塚歌劇ファンとしても有名。

- ・ 酒井千佳(伊丹市出身・気象予報士／フリーアナウンサー)

京都大学工学部建築学科卒業。現在は、NHKニュースおはよう日本の気象キャスターとして活躍。元地上デジタル放送推進大使「TEAM2011」のメイン大使職。

■ 「京都国立博物館開館120周年記念 特別展覧会」(5～8面)

- ・ 「京都国立博物館開館120周年記念 特別展覧会」開催概要(6面・7面)
- ・ 「桃山絵師シリーズ」完結にあたる特別展覧会「海北友松」を通じて、友松の83年間であった生涯を回顧します。(5面・6面)
- ・ 特別展覧会「国宝」のみどころや解説、国宝指定出品予定作品などを紹介します。(7面・8面)



掲載概要・紙面体裁(両表紙構成)

5面～8面で展開する「京都国立博物館開館120周年記念 特別展覧会」特集内容は、8面をフロント面、5面を終面と捉えた「逆頁送り」による編集構成をいたします。

特集記事10段
広告全5段

8面

記事内容(案)

<8面>

・特別展覧会「国宝」の絵画・書跡・彫刻・工芸・考古におけるの各分野から、歴史と美を兼ね備えた国宝指定出品予定作品紹介

特集記事10段	特集記事10段
広告全5段	広告全5段

7面・6面(見開き)

記事内容(案)

<7面～6面>

・「京都国立博物館開館120周年記念 特別展覧会」開催概要や特別展覧会「国宝」と特別展覧会「海北友松」の解説とみどころ

特集記事10段	広告全15段
広告全5段	

5面・4面(見開き)

記事内容(案)

<5面>

・特別展覧会「海北友松」の友松晩年期における代表作や数少ない初期作、新発見・初公開作品、幅広い交流跡を物語る書状や文書類など展示予定作品紹介

特集記事10段	特集記事10段
広告全5段	広告全5段

3面・2面(見開き)

記事内容(案)

<2面>

・リニア中央新幹線・北陸新幹線延伸構想
・うめきた2期の基盤整備事業や用地暫定利用
・関西国際空港第3ターミナルビル建設や3空港一体運営構想

<3面>

・大型クルーズ船誘致湾岸整備や神戸・大阪開港150年
・インバウンド2017年動向
・関西に関わりが深い女性著名人による関西の未来ビジョンインタビュー
・週刊エコノミスト臨時増刊 2017年3月発売(予定)「ザ・関西 VOL.4」発刊告知

特集記事10段
広告全5段

1面

記事内容(案)

<1面>

・関西における陸路・海路・空路トピックス

◇掲載日:2017年1月1日(日)付
 ◇発行エリア:毎日新聞大阪本社版 朝刊セット地域
 ◇発行部数:1,037,351部(2016.1～6 ABCレポート)
 ◇発行形態:元旦付本紙と同配の別刷り
 ◇ページ数:ブランクセット版 8頁(色刷り・多色)
 ◇広告料金:1段あたり@552,000円(消費税・意匠広告制作費は別途)
 カラー料金は別途必要となります。
 ご契約広告主には契約単価を適用させていただきます。
 ◇原稿締切:2016年12月9日(金)
 ※通常の新聞印刷工程と異なるため、原稿締切が早くなっています。
 ご注意ください。

【本別刷りのお問い合わせ】
 毎日新聞大阪本社
 広告局 企画推進部
 TEL 06-6346-8338
 FAX 06-6346-8334